

町家ペンキ塗り替えボランティア活動 2006年 in HAKODATE・谷地頭町商店街-1



before



after



■ 2006年7月29日（土）、7月30日（日） ■

←左

【(29) 市中屋餅店：谷地頭町26-11

【塗り替えの配色】外壁モルタルの基調色：アイボリー色、アクセント・カラー：赤茶系の色、の2色

右→

【(30) 谷地頭町会館：谷地頭町26-10

【塗り替えの配色】外壁サイディングの基調色：アイボリー色、アクセント・カラー：青系の色、の2色

●新たな活動展開の方向―「ペンキ塗替えでまちが変わる」：数年前から西部地区の下見板張り建物が目に見えて少なくなり、新規物件の開拓が難しくなってきた。このような状況変化の中で、従来の下見板張り建物にこだわった点在する単体の建物ペンキ塗り替えから、下見板張りではないものを含む、建物が連続する「町並み」のペンキ塗り替えという新たな活動展開へと方向を転換する。具体的には、地域の商店街である谷地頭商店街を対象とし、地元の町会や商店主との連携をはかり、地域全体の将来像を描きながら、年に2〜3棟を塗り替える計画である。参加者の飛躍的な増加を基盤とし、数年がかりで商店街全体を塗り替えることをとおして、誰の目にもあきらかな都市景観の改善と、ペンキ色彩による商店街再生の一端を担い、「ペンキ塗替えでまちが変わる」ことをめざすものである。

●塗り替え対象物件の選定理由：元町倶楽部の山本真也氏とおして、谷地頭町会に商店街全体の町並みのペンキ塗り替えの働きかけをおこなった。谷地頭町会の会長・岡嶋一夫氏、副会長・市中益雄氏をはじめ、町会全体として賛同の意が表された。谷地頭町会の総意として、初年度の今年は、町会のシンボリックな建物である「谷地頭町会館」と、副会長がオーナーの店舗「市中屋餅店」の2件を対象としてほしいとの要望があった。

●塗り替える色の方針と検討：下見板張りの建物がほとんどなく、モルタル塗りやサイディング張りの建物が多いので、従来のように、外壁に多様な色を用いると、町並みとしてのまとまりを得ることが難しいと判断し、商店街全体のまとまりを表現するために建物の外壁の色を統一すること、その上で、各建物が個性を発揮するものとして、外壁以外の部分にシンボルとなるようなアクセントカラーを考えること、の2点を基本方針とした。外壁の色は、商店街のメインストリート・表参道の背景の函館山の緑が最も映える色として、また冬には雪の白に同化して各建物のアクセントカラーだけが浮かびあがるよう、白系のアイボリーを選び、町会の賛同を得て決定した。アクセントカラーは、CGシミュレーションを教案作成し、町会と協議して決定した。谷地頭町会館では、1階部分に大きな門構えのように張り出している、現在薄い青色に塗られているところと、2階壁面の折れ曲がっている、縦に細長い2箇所をアクセントカラーにする部分とし、①外壁のアイボリーに調和する、落ち着いた灰系の色、②1階のタイルの色をとり入れた、紺系の色、③周辺の山の緑に調和する、黄系の色、④周辺の山の緑をとり入れた、緑系の色、⑤西部地区によく見られる、ピンク系の色、の5案を作成した。市中屋餅店では、正面の1階と2階を分けている看板が設置されている部分、側面の縦に長い煙突と玄関の小庇のところをアクセントカラーにする部分と、①現状の外壁の色をそのままとり入れて、茶系の色、②現在の色を少し明るくした、赤茶系の色、③西部地区によく見られる、パステル調のピンク系の色、の3案を作成した。町会と協議した結果、市中屋餅店は②に決定したが、谷地頭町会館は決定にはいたらず、②の紺系の色をベースに、より明るい色に、青色に近い4段階の案を作成し、さらなる検討を加え、右の写真のような青灰色に決定した。

【参加者】ペンキ塗りボランティア隊代表・小野めぐみ、佐藤大樹、芝井健一（以上、北海道大学大学院工学研究科建築計画学研究室・修士課程1年）、兼城尚司、金 貞姫、殿井 直、中村征之、花本達郎（同・修士課程2年）、計 文浩（同・博士課程2年）、森下 満（同・助手）、滝下ひかり、高橋優衣、諸岡佳苗、鍋谷美希、逢坂卓晴（以上、函館工業高校・生徒）、川村小百合、三河麻奈未、近藤絢司、鈴木達郎（以上、函館工業高等専門学校・学生）、青柳雅也、鳴海由紀、浜 愛乃、斎藤 誠、須々田拓真、川又貴幸、佐々木恵理奈、大橋由紀子、阿部真李、金野亜季（以上、北海道教育大学函館校・まちワーク研究室・学生）、上田勝太郎、遠田綾香、大館拓也、岡本隼宗、小笠原庸介、長船綾乃、貝崎あかり、加藤耕平、北村久美子、木村麻衣、工藤裕太、栗田康二、小林愛子、齋藤 希、酒井 文、佐々木佳和子、佐野文香、下田和佳子、杉岡竜馬、鈴木進太郎、鈴木達也、関川初音、高橋沙織、辻 翔大、中嶋洋之、中野里南、長尾 愛、早坂美香、東谷理沙、三神和也、三沢良太、水堀 優、森 香奈枝、山沢 遥、吉田今日子、時田よしの、（以上、北海道教育大学函館校・根本&山本ゼミ・学生）、根本直樹（北海道教育大学函館校・助教授）、東峰安男（一般市民）、中村幸子（小倉工務店）、山本真也（函館市役所&元町倶楽部）、陳 有崎（函館からトラスト事務局）、岡本浩一（㈱ホルス）、以上71名（2日間延べ99名）

【協力者】谷地頭町会（谷地頭町会館の休憩スペース、トイレの提供）、市中屋餅店・市中益雄（お菓子の差し入れ）、㈱小倉工務店（足場の手配、ヘルメットの提供）、建築工業㈱札幌営業所・米沢猛夫（ペンキ塗料の手配）、函館工業高校建築科教諭・吉村富士夫（函館工業高校生のボランティア手配）、函館工業高等専門学校教授・葦澤憲吉（函館工業高等専門学校生のボランティア手配、女子学生の宿泊）、北海道教育大学函館校助教授・根本直樹（北海道教育大学函館校学生のボランティア手配）、元町倶楽部・山本真也（谷地頭町会との諸々の交渉、北海道教育大学函館校学生のボランティア手配）、函館からトラスト事務局・陳有崎&河内昌子（足場の交渉、ハケ等ペンキ用具の保管、宿泊先&貸し布団の手配、当日の弁当の手配）

※以上敬称略



before



after

